

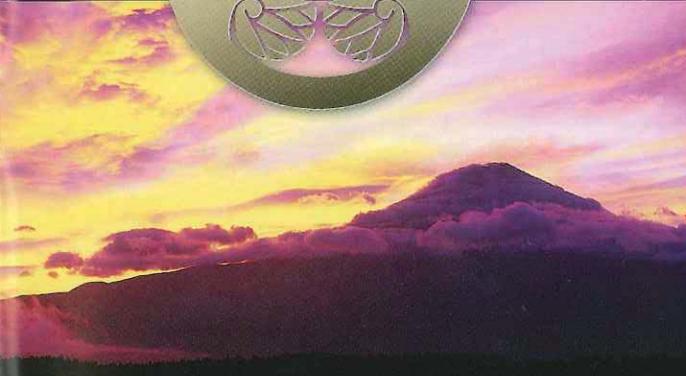


静

岡

戦

國



ガイドブック



SHIZUOKA SENGOKU
GUIDE BOOK

<http://www.sengoku-shizuoka.com>



©静岡県
shizuoka
城と戦國浪漫

戦国舞台 静岡

沼津の興国寺城で旗揚げをした北条早雲が火蓋を切り、
浜松城・駿府城を築いた徳川家康が終止符を打った戦国時代。
戦国の世は、静岡県抜きには語れない。

遠江
駿河
伊豆



静岡県知事 川勝 平太

戦国時代へタイムスリップ。

ふじのくにしずおかで戦国浪漫の旅を。

戦国時代の静岡県は、戦国の幕開けから群雄割拠の舞台でありつづけ、さらには、天下太平の世を築き上げた徳川家康公が人生の大半を過ごすという戦国武将の夢と挫折が交錯した場所でもあります。県内には、建築物として国宝に指定された久能山東照宮をはじめ、駿府城跡や浜松城などの家康公ゆかりの史跡のほか、数多くの文化財が地域の皆様の弛まぬ御努力により保存されています。ぜひ多くの皆様がこの地を訪れていただき、遙かなる歴史の浪漫に想いを馳せていただければ幸いです。

戦国 SHIZUOKA GUIDE BOOK

目次

戦国舞台静岡	2-3
静岡県城総覧	4-5
戦国舞台静岡おすすめの城	
西部エリア	6-7
中部エリア	8-9
東部エリア	10-11
静岡県戦国催し案内	12
静岡県 物産・グルメ	13
ホームページのご案内	14-15
特選30城	
お問い合わせリスト	16



静岡大学名誉教授
小和田 哲男

歴史を動かした戦国静岡の武将たち

現在の静岡県は、駿河・遠江・伊豆の三ヶ国からなっており、駿河・遠江は戦国大名今川氏が、伊豆は北条氏が支配をしていた。その後、今川氏が衰退すると、甲斐の武田氏、三河の松平(徳川)氏によって今川氏は滅ぼされ、武田信玄が駿河を、徳川家康が遠江を支配する形で推移した。やがて、武田・徳川の戦いがくりひろげられ、織田信長と手を結んだ家康が天下をとっていくのである。まさに、静岡は戦国史の主要な舞台であった。

<プロフィール>1944年、静岡市に生まれる。早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。現在、静岡大学名誉教授、文学博士。専門は戦国史で、『後北条氏研究』『今川義元』『史伝武田信玄』『小和田哲男著作集』などの著作がある。NHK大河ドラマ『秀吉』『功名が辻』『天地人』『江〜姫たちの戦国』の時代考証を担当。



広島大学大学院教授
三浦 正幸

静岡県は日本の城郭建築の歴史博覧会場

静岡県には関ヶ原以前の豊臣政権の城が多数あり、その古風な縄張りや石垣が関ヶ原後の徳川政権の建築と共存する独特な城が生まれました。全国無類の大きな腰屋根をもつ掛川城の櫓門、全国で唯一完存する掛川城二の丸御殿、天守代用なのにまるで御殿のような田中城御堂。現存はしませんが、史上最多重を誇った駿府城の六重七階天守、穴蔵に井戸がある全国3例の浜松城天守、土塁に片足を掛けていた横須賀城天守。城の博覧会です。

<プロフィール>1954年名古屋市の生まれ。東京大学工学部建築学科卒業。工学博士・一級建築士。研究分野/日本建築史。特に城郭建築と社寺建築が専門。主な著書/『城の宝基礎知識』至文堂1999年『城のつくり方図典』小学館2005年。ほか多数。



織豊期城郭研究会
加藤 理文

徳川・武田・北条氏が争奪を繰り返した城郭群

京都と関東の中間点に位置する静岡県は、戦いの度に東海道を兵馬が往来し、戦乱の余波に巻き込まれました。戦国時代、東海の雄と呼ばれた今川義元が桶狭間で討ち死にすると、北から武田氏、西から徳川氏、東から北条氏が侵入し、各地に特徴的な城を築きあげ、領土拡張をねらったのです。今も戦国を代表する大名たちが築いた城が、全県にわたって残っています。これら魅力ある城郭群を訪ね、戦国の息吹を肌で感じてほしいものです。

<プロフィール>1958年生まれ。駒澤大学文学部歴史学科卒業。静岡県磐田市立磐田第一中学校教諭。研究分野/日本城郭史。特に織豊城郭史。主な著書/『中世・戦国・江戸の城』新人物往來社2004年『よみがえる日本の城1〜30』(共著)学習研究社2004〜2006年『静岡の山城ベスト50を歩く』(編著)サンライズ出版2009年『図説国宝の城』学習研究社2010年。他多数。

乱世を今に伝える七〇〇余の城

天下をかけて覇を競い合った強者どもの夢に想いを馳せる。

遠江・駿河・伊豆と3つの守護国から成る静岡は、東西交通の要衝でもあったため、古くから多くの実力者が対立し、覇を競い合っていました。殊に戦国の世になってからは、天下をうかがう戦国武将達が数多く入り乱れ、静岡はまさに群雄割拠の地でした。そのため城郭や砦、陣屋、館など、乱世に備えた700もの「城」が築かれました。そんな戦国浪漫あふれる静岡で、戦国武将達が描いた夢に想いを馳せてみてはいかがでしょうか。

中部

駿河国/駿州

駿河は当初、須流加、須留可、薦河などと表記され、「尖川ないし駿馬の如き」つまり山から海に落ちる険しい川を意図して名付けられたと考えられています。



遠江国/遠州

古くは「遠淡海(とほつあはうみ)」と表記されてきました。これは都(京都)から見て遠くにある淡淡の海。すなわち浜名湖(他説あり)を意味していたと伝えられています。

- 東海道新幹線
- JR線
- 東名高速道路
- 私鉄線

戦国舞台静岡

おすすめの城

[西部エリア]



① 徳川×武田 三方ヶ原の戦い 1572年

元龜3年(1572)、遠江へ侵入した武田信玄軍と徳川家康軍との戦い。徳川軍は大敗を喫した。

② 徳川×武田 二俣城の戦い 1572年

元龜3年(1572)に行われた武田氏と徳川氏による攻防戦。これを境に地侍の殆どが信玄に従うこととなった。

③ 徳川×武田 一言坂の戦い 1572年

武田信玄と徳川家康との間で行われた、二俣城の戦いを含む三方ヶ原の戦いの前哨戦。家康の退却戦。

④ 徳川×武田 高天神城の戦い

第一次1574年 第二次1581年
武田勝頼と徳川家康による2度の攻防戦。第一次では徳川から武田が奪取、第二次では家康が奪回した。



日本名城10

掛川城

名称	掛川城(かけがわじょう)
俗称・別名	雲霧城、松尾城
所在地	掛川市掛川
様式	平山城
主な遺構	土塁・横堀・石垣、 二の丸御殿(重要文化財)

主な城主 山内一豊、太田資俊
東海道と、相良湊から北遠・信州に至る秋葉道が交差する交通の要衝であり、河川によって浅羽湊とも繋がる重要地点であった。戦国期、今川氏の遠江経営の拠点として、重臣朝比奈氏の城が置かれた。豊臣政権下、山内一豊が入城し、石垣・天守を持つ城に生まれ変わり、面目を一新した。



1. 浜松城 / 浜松市

徳川家康が遠江経営の拠点とし17年に渡って居城とした。江戸時代になると、多数の老中を輩出し、出世城と呼ばれた。



4. 犬居城 / 浜松市

北遠江の国人領主天野氏の居城。武田氏の下で大改修を実施し、徳川軍に備えたが、大軍に攻められ、落城した。



9. 掛川城 / 掛川市

今川氏終焉の城であり、山内一豊が一躍20万石へ雄飛した城でもある。平成6年戦後初の木造天守が復元された。

戦国コトバ 三方ヶ原の戦い

元龜3年(1572)、西上作戦を開始した武田信玄は青前峠から遠江へ侵入、犬居城・二俣城を落とす。信玄は浜松城を無視して行軍を続け、家康を挑発した。家康は一部家臣の反対を押し切り、籠城策を取り止め、浜松城から出撃。同年12月22日夕、三方ヶ原台地に到着、ついに戦いの火蓋が切られた。その時、武田軍2万5千に対し徳川軍は織田の援軍を加えて1万1千。結果、徳川軍は大敗、家康は命からがら浜松城へと逃げ帰った。



7. 久野城 / 袋井市

武田信玄も城攻めをおきらめる程の湿地帯に囲まれた要害の地に位置する。江戸時代前期に廃城となった。



8. 横地城 / 菊川市

中世遠江を代表する名族・横地氏の居城。広大な範囲に「東の城」・「中の城」・「西の城」と呼ばれる曲輪が展開する。

の選に選ばれた城

山内一豊の出世城



西部エリア 特選 11城



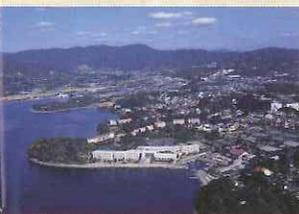
2.高根城 / 浜松市

信濃・遠江の国境に位置するため、武田信玄・勝頼が橋頭保として重要視した。発掘調査に基づき整備復元された。



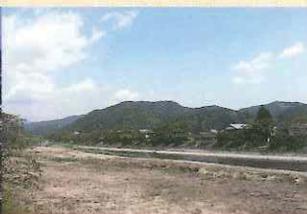
3.二俣城 / 浜松市

武田・徳川両氏が争奪戦を繰り返した交通の要衝に位置する拠点城郭。徳川家康の嫡男信康が幽閉された城である。



5.佐久城 / 浜松市

猪鼻湖に突き出た岬に築かれた城で、連歌師・宗長も立ち寄っている。武田・徳川両軍の争いに度々巻き込まれた。



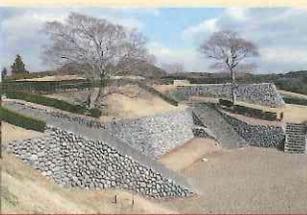
6.天方城 / 森町

犬居城から掛川・袋井方面に向かう交通の要衝に位置する。武田軍と徳川軍による争奪の舞台となった。



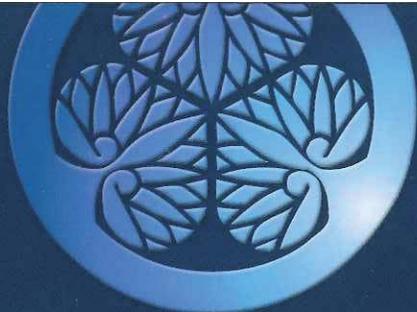
10.高天神城 / 掛川市

「高天神を制する者、遠江を制す」と呼ばれた城で、武田対徳川の激しい攻防が繰り広げられた城である。



11.横須賀城 / 掛川市

高天神攻めの前線基地として築かれ、その後遠州灘を押さえる海運の拠点となった。河原石で積まれた石垣が残る。



徳川家康

生誕 天文11年(1543)

没年 元和2年(1616) 享年75

戦国の世に終止符を打った家康の七十有余年の生涯は、苦難の連続だった。

家康は、戦国時代中期の天文11年(1543)、三河国岡崎城主・松平広忠の嫡男として誕生した。当時の松平氏は弱小の一地方豪族に過ぎなかったため、家康は父・広忠によって、臣従していた有力戦国大名の今川氏へ忠誠を示すため、人質として差し出された。わずか6歳の時だった。

人質として忍従の日々を送っていた家康に転機が訪れたのは、永禄3年(1560)のこと。桶狭間の戦いにおいて今川義元が織田信長に討たれ、その混乱に乗じて独立を果たすと信長と同盟(清洲同盟)を結び、家康と名を改め、三河・遠江へと次第に勢力を拡大。永禄9年(1567)に徳川氏に改姓、徳川家康となった。

その後、本拠地を浜松城に移し、幾多の戦いに勝利した家康は、天正18年(1590)、小田原北条氏が滅ぶと関東へと移封、最大の領地を得て、豊臣政権下で五大老の筆頭となった。そして秀吉没後の慶長5年(1600)、関ヶ原の戦いに勝利し、慶長8年(1603)に征夷大将軍に任命され、江戸幕府を開き、支配の正当性を確立させた。

慶長10年(1605)に三男・秀忠へ征夷大将軍職を譲り、駿府城に随居した後も「大御所」として影響力を保持。慶長19~20年(1614~1615)にかけて行った大坂冬の陣・夏の陣で豊臣氏を滅ぼし、幕府の統治体制を盤石なものとする。元和2年(1616)、駿府城にて死去した。

イラストの若き日の家康が身に着けている金色の甲冑は、「金陀美具足」と呼ばれ、永禄3年(1560)、19歳の家康が大富城への兵糧入れで武功をたてた際に着用していたもので、徳川家代々の守り鎧として、江戸城に保管されていた。

戦国舞台静岡 おすすめの城 [中部エリア]



① 今川×武田 薩埵峠の戦い 1568年

永禄11年(1568)、武田信玄の軍勢と今川氏真・北条氏政の軍勢との間で2度にわたって行われた合戦。

② 今川×武田 駿河侵攻 1568年

永禄11年(1568)に行われた甲斐国の戦国大名・武田信玄による、今川氏領国である駿河国への侵攻。

③ 今川家お家騒動 花倉の乱 1536年

天文5年(1536)に起きた、今川氏のお家騒動。嫡流の梅岳承芳(今川義元)が勝利し終結した。



6. 安倍城

4. 花倉城

2. 諏訪原城

1. 勝間田城

川根本町

静岡市

島田市

藤枝市

焼津市

3. 田中城

吉田町

牧之原市

御前崎市

日本名城10

駿府城

名称 駿府城(すんぷじょう)

俗称・別名 府中城

所在地 静岡市葵区追手町

様式 平城

主な遺構 石垣、堀

主な城主 中村一氏、徳川家康

本能寺の変後、五ヶ国支配の拠点とすべく徳川家康が築城。その後、豊臣配下の中村一氏が入城し、天守を造営した。慶長12年(1607)、隠居城として再び家康が入城し、築城工事を起こすが、火災により消失。すぐさま工事を再開し、城を完成させた。六重七階の天守は、富士山を凌ぐ程と形容され鉛瓦・銅瓦という金属瓦が異彩を放っていた。

8. 蒲原城

9. 小島陣屋

7. 久能城

国宝/久能山東照宮



戦国コラム 花倉の乱

天文5年(1536)、今川家当主の氏輝とすぐ下の弟・彦五郎が急逝。氏輝の2人の弟、玄広惠探と梅岳承芳の家督相続争いが起った。

重臣の大半が、承芳の補佐役・太原雪斎の説得によって承芳側につくと、惠探は、母方の福島氏の応援を得て、花倉城に籠城、承芳と争う意思を表明した。承芳は花倉城を攻め、逃げる惠探を追撃。惠探は自刃、花倉の乱は終結した。

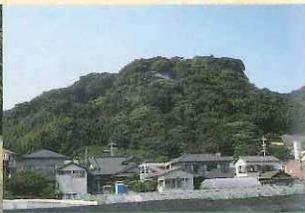
この争いの間に承芳は選俗して義元と名乗り、九代目当主となった。



5. 駿府城 / 静岡市



6. 安倍城 / 静岡市



7. 久能城 / 静岡市

守護今川氏の館跡に、徳川家康が築城。將軍職を秀忠に譲ると隠居城として面目を一新し、再び入城した。

駿河南朝の拠点とし、宗良親王も一時ここに滞在。山頂部からの視界は開け、静岡市内から駿河湾まで一望される。

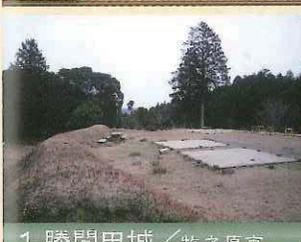
駿河を手中にした武田信玄が久能寺を移し築城。山麓河口の湊の管理と駿河湾の監視目的を持つ城であった。

の選に選ばれた城

大御所家康の隠居城



中部エリア 特選9城



1. 勝間田城 / 牧之原市

室町幕府奉公衆として幕府中枢近くで活躍した勝間田氏の居城。中世城郭の面影を残すが、戦国期に改修を受けている。



2. 諏訪原城 / 島田市

巨大な丸馬出と圧倒的な規模の空堀を有する土造りの城の最高傑作の一つ。武田、徳川両氏が重要視した。



3. 田中城 / 藤枝市

四重の堀を同心円状にめぐらせた円形プランを持つ城として、江戸時代の軍学書によく取り上げられた著名な城。



4. 花倉城 / 藤枝市

今川時代の面影を伝える数少ない城の一つ。義元が太源雪斎を後ろ盾に家督争いに勝利した花倉の乱最後の舞台。



8. 蒲原城 / 静岡市

東西勢力が衝突する場所であったため「境目の城」として重要視された。東海道を眼下に見下ろす要衝でもある。



9. 小島陣屋 / 静岡市

江戸時代中期における一万石の大名陣屋のあり方と構造を今に伝える貴重な城。見事な石垣が残る。



今川義元

生誕 永正16年(1519)

没年 永禄3年(1560) 享年42

駿河・遠江、2国を所領していた今川氏は、足利将軍家一門の吉良氏の分家にあたり、「足利家が途絶えれば吉良家が継ぎ、吉良家が途絶えれば今川家が継ぐ」と定められ、征夷大将軍に就任する権利を持つ名門だった。

今川義元は、永正16年(1519)、今川家7代目当主・今川氏親の五男としてこの世に生を受けた。その時には既に、跡継ぎとして兄で後に8代目当主となる氏輝がいたため、4歳で仏門に出され、梅岳承芳と称していた。ところが天文5年(1536)に兄・氏輝が急死すると、継承権を持つ兄・彦五郎も死亡。氏輝・彦五郎と同じ母を持つ承芳は、重臣達から選俗を乞われ、今川義元と名乗った。しかし、当主継承については有力家臣であった福島氏が反対、福島氏の血を引く義元の異母兄・玄広恵探を推して反旗を翻した(花倉の乱)。この内乱を鎮めた義元は、家督を相続、9代目当主となった。

天文6年(1537)、義元は武田氏と同盟を結び、北条氏と対立するも武田氏の援軍を得て、北条軍を打ち破った。次に三河へと進出。これに危機感を抱いた尾張の織田軍との戦いにも勝利した。

天文23年(1554)、武田氏・北条氏と三国同盟を結んだ。これにより東方の脅威を排除すると、尾張へと度々侵攻した。

そして永禄3年(1560)5月、駿河・遠江・三河の大軍を率いて尾張へと出陣。ところがその途上、桶狭間で休息中に織田信長の奇襲を受け、奮戦するも、織田家家臣・毛利良勝に愛刀・左文字の太刀ともども首級を奪われた。

後年、義元について愚鈍なイメージで語られることが多いが、実際は領国経営や外征面でも優れた才能を発揮して領国を拡大、戦国期における今川家の最盛期を築き上げ、また「海道一の弓取り(戦上手)」と呼ばれ、恐れられていた。

戦国舞台静岡

おすすめ名城

[東部エリア]



日本名城10

山中城 北条氏が

名称	山中城(やまなかじょう)
俗称・別名	——
所在地	三島市
様式	山城
主な遺構	土塁、空堀、曲輪、土橋、櫓台
主な城主	北条氏康、松田康長

小田原北条氏の領国守備の最前線基地として、天正後半(1585年頃)豊臣軍の襲来に備え、大改修が実施された。主要曲輪を独特な堀障子(障子堀と畝堀)で取り巻き防御を固めたが、豊臣軍四方の大軍勢の前に半日で落城した。発掘調査が実施され、堀障子や木橋が整備復元され、往時の城の景観が蘇った。城内を箱根旧街道が貫いている。



① 今川×北条 河東の乱 1536-45年
天文5~14年(1536~45)に起こった、駿河今川氏と相模後北条氏による争い。収束後、甲相駿三国同盟が成立。

② 北条×足利 伊豆討入り 1493年
明応2年(1493)、伊勢盛時(北条早雲)は堀越御所のを急襲。これを機に伊豆一国を手中に収めた。

③ 豊臣×北条 山中城攻防戦 1590年
天正18年(1590)、小田原の役で4万の豊臣軍が山中城を攻撃、北条軍4千は奮戦するも半日で落城した。



3. 山中城 / 三島市

豊臣軍の侵攻に備えて、北条氏が全勢力を傾注して築き上げた土造りの最高到達点を示す城。整備が実施されている。

戦国コラム

伊豆討入り

延徳3年(1491)、堀越公方・足利政知の長男・茶々丸が、政知の死後、継母・円満院と潤童子を殺害、強引に跡目を継いだ。

明応2年(1493)、早雲は500程の兵を率いて堀越御所を夜襲。茶々丸はそこで討たれたとも、近くの守山へ逃れて自刃したとも、さらに落ちのびたともいわれているが、その時点で堀越公方としての政治生命が絶たれたのは間違いない。これを足掛かりに早雲は伊豆国を平定することとなる。



6. 莚山城 / 伊豆の国市

天ヶ岳、主郭となる龍城山、御座敷と総称される低地部分の三地区で構成。豊臣軍の猛攻にも耐え抜いた。



7. 狩野城 / 伊豆市

伊豆から駿河、遠江にまで移住し、県内に多くの影響を及ぼした狩野氏の主城。下田街道を見下ろす城である。



8. 鎌田城 / 伊東市

伊東から大見・修善寺へぬげる街道を監視する役目を担っていた。北条氏の改修を受けた横堀が残る。

の選に選ばれた城

完成させた土造りの要塞



東部エリア特選10城



1. 葛山城 / 裾野市

今川、北条、武田氏の三つ巴の争いに巻き込まれた。現在の城は、武田氏によって整備された後の姿である。



2. 深沢城 / 御殿場

武田信玄による降伏勧告の「矢文」で名高い城。駿河・甲斐・相模の国境を結ぶ交通の要衝に位置する城であった。



4. 興国寺城 / 沼津市

北条早雲の旗揚げの城として知られ、その後武田、徳川の城となり改修された。本丸背後の大堀切は圧巻である。



5. 長浜城 / 沼津市

北条水軍の拠点として、内浦湾に面した尾根先端部に築かれた。コンパクトな城であるが、堀切や塹堀が見られる。



9. 河津城 / 加茂郡河津町

本曲輪から、河津の浜や河口が一望される。軍事拠点としてではなく、海上ルートの監視が主な役目であった。



10. 下田城 / 下田市

北条水軍の伊豆支配の拠点として築かれた。見事な敵艦が、城内に多く残るが、曲輪は小さく尾根上に広がる。



北条氏政

生誕 天文7年(1538)

没年 天正18年(1590) 享年53

後北条氏は、室町幕府の御家人の一族だった伊勢新九郎盛時(北条早雲)を祖とする戦国大名。早雲は、文明8年(1476)、今川氏の家督争いに甥の今川氏親を支援、その功績により駿河国(現・沼津市)の興国寺城と所領が与えられた。その後、伊豆国に侵入してこれを所領すると、明応4年(1495)に小田原城を奪って相模進出の足がかりとし、永正13年(1516)、相模国全域を平定した。

後北条氏の4代目当主・氏政は、3代目当主・氏康の次男として、天文7年(1538)に生まれた。長男・新九郎が夭折したことで跡継ぎとなり、永禄2年(1559)、父・氏康の隠居に伴い家督を相続した。その後、次第に勢力を拡大していった氏政は、天正8年(1580)に家督を嫡男の氏直に譲って隠居するも、北条家の政治・軍事の実験は掌握し続けた。天正13年(1585)には、下野南部と常陸南部にも勢力を拡大。こうして北条氏の領国は相模・伊豆・武蔵・下総・上総・上野から常陸・下野・駿河(一部)におよぶ240万石に達した。

ところがその後、天下統一をめざす豊臣秀吉との対立が待っていた。天正16年(1588)、秀吉は北条氏政・氏直父子に上洛して帰属するよう迫ったが、氏政はこれを拒否。秀吉は天正17年(1589)、小田原攻めを発令した。氏政らは、かつて上杉謙信や武田信玄の来襲を撃退した経験から、本拠・小田原城での籠城作戦を採用した。対する秀吉は、天正18年(1590)、圧倒的な兵力と物量で小田原城を陸と海から包囲すると同時に、各地の支城を次々と攻め落としていった。同年7月、小田原城に孤立した後北条氏は、ついに城を開いて降伏。隠居の氏政と弟の氏照は自刃、氏直は紀伊富尾山へ追放された。

これにより、初代早雲から数えて5代100年に渡って関東一円を支配した戦国大名としての北条氏は滅亡した。

静岡県戦国歴史 催し案内

静岡県の各地では、故事にならった祭りや信仰に基づく祭礼など、様々な祭典が開催されています。数百年もの間、受け継がれてきたものも少なくありません。古城巡りと併せて見物してみてもいいかもしれません。



遠州鑑仁會



駿府鉄炮祭

火縄銃の歴史などを研究している駿府古式砲術研究会。研究会内の鉄炮隊である「駿府鉄炮隊」が駿府城をはじめ、県内各地で火縄銃の古式演武と展示を行っています。●<http://www.k3.dion.ne.jp/~ashimasa/>

戦国武将に扮して各地のイベントに出陣しているボランティア団体、遠州鑑仁會(えんしゅうがいしんかい)。今後の出陣予定は遠州鑑仁會のブログでご確認ください。●<http://yoroikokoro.hamazo.tv/>



姫様道中

江戸時代、姫様九ちが好んで通ったことからその名が付いた「姫街道」。満開の桜並木の下を絢爛豪華な行列が練り歩く。

- 4月第1土・日曜日 ●気賀中心街ほか
- 053-523-1168(浜松市北区役所区振興課)
- 053-523-3336(細江町観光協会)
- <http://hosoe-shoukukai.com/>



遠州大名行列・舞車

江戸時代の参勤交代を再現した「遠州大名行列」や舞車の故事にちなんだ「舞車おどり」などで構成された磐田の春のイベント。

- 4月最終土曜日 ●見付宿場通り周辺
- 0538-37-3792(いわた大祭り実行委員会)
- <http://iwata-oomatsuri.org/>



静岡まつり

毎年4月第一金・土・日、満開の桜の下で、家康公の花見を再現した400名の大御所花見行列や登城行列、夜桜乱舞などが繰り上げられる。

- 4月第1金・土・日曜日 ●駿府城ほか
- 054-221-0182(静岡まつり実行委員会事務局)
- <http://www.shizuokamatsuri.com/>



遠州横須賀 三熊野神社大祭

県無形民俗文化財第一号の三社祭礼雑子で盛り上がるこの祭典の呼び物は、神輿渡御と華やかな十三台の祢里の曳き廻し。県外からも多くの見物客が訪れる。

- 4月第1金・土・日曜日 ●掛川中心街ほか
- 0537-21-1149(掛川市役所 商工労働観光課)
- <http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/>



高天神社例大祭

神様が東峰の社に里帰りされる行事として行われる祭礼。迫力満点の火縄銃演武や様々なイベントが行われ、大いに賑わう。

- 3月最終日曜日 ●高天神社
- 0537-72-2701(掛川観光協会大東支部)
- <http://lgportal.city.kakegawa.shizuoka.jp/>



やぶさめまつり

1193年、源頼朝が浅間大社に流籠馬を奉納したことに起因。鎌倉武士の狩り装束のいでたちで小笠原流流籠馬式が行われる。

- 5月4・5・6日 ●富士山本宮浅間大社
- 0544-27-5240(富士宮市観光協会)
- <http://www.city.fujinomiya.shizuoka.jp/shoko/>



吉原祇園祭

吉原地区の5つの神社が連合して行われる伝統の祭り。20台もの山車の引き回しは迫力満点。梅雨空を吹き飛ばすほど。

- 6月第2土・日曜日 ●吉原商店街周辺
- 0545-64-3776(富士山観光交流ビューロー)
- <http://www.fujisan-kkb.jp/>



焼津神社 荒祭り

1千年の歴史を持つ焼津神社例大祭。最大の見せ場は御輿渡御行列。数百人におよぶ白装束の若衆が御輿を担ぎ、囃る。

- 8月12・13日 ●焼津神社周辺
- 054-628-2444(焼津神社)
- <http://www.city.yaizu.lg.jp/tanoshimu/>



三島山中城まつり

山中城悲話に基づく歴史を紹介する戦国絵巻イベントや、箱根特産物のPR、山かご体験、愛鷹太鼓などが盛りだくさん。

- 5月第3日曜 ●山中城跡公園
- 055-983-2656(三島市商工観光課)
- <http://www.mishima-kankou.com/>



桜えび

国内水揚げ量の100%が駿河湾産。漁期は4～6月と10～12月の年2回。由比漁港と大井川港で水揚げされる。



金目鯛

駿河湾などの水深200～800mに棲む深海魚。刺身はもちろん、煮魚や鍋物、酒蒸し、干物など色々な食べ方ができる。



うなぎ

浜名湖の代名詞ともいえる「うなぎ」。技術改良と厳しい飼育管理により、安全・安心でおいしいうなぎが生産されている。



しらす

静岡県は、しらすの漁獲量・生産額ともに日本一(平成19年)。生、釜揚げ、しらす干し。どれも格別の美味しさ。



とらふぐ

遠州灘は日本有数のとらふぐの漁場。漁期は10月～2月。冬の味覚の王様を、産地ならではのお手頃価格で。



はも

6月～8月が旬の夏の魚、はも。遠州灘は上質な天然モノが水揚げされている。栄養満点、老化防止効果もある新名物。



とろろ汁

「東海道中膝栗毛」や芭蕉の句にも登場する丸子名物とろろ汁。江戸時代から続く、素朴で深い味わいをご堪能。



わさび

富士山や天城山、南アルプスなど、豊かな自然を活かして栽培されているわさび。静岡県が全国に誇る特産野菜。



三保海岸からの富士山



静岡育ちの美味しいもの「物産・グルメ」

海も山もある静岡県は、おいしい名物や特産品がいっぱいのグルメ天国。取れたて・獲れたての美味しさを、ぜひ、ご賞味ください。



大井川鐵道



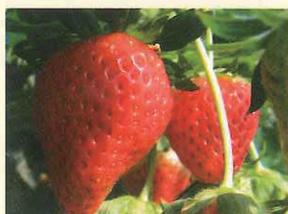
みかん

温暖な気候により全国3位の収穫量を誇る。伊豆や静岡市、浜松市(三ヶ日)などの産地が有名。



メロン

静岡県の温室メロンは、収穫量・作付面積とも日本一。美しい外観や芳醇な香りなど、品質においても高く評価されている。



いちご

静岡県は全国でも有数のいちご大国。「章姫(あきひめ)」や「紅ほっぺ」などのご当地品種を召し上げられ。



お茶

全奥野茶園面積の41%、荒茶産出額の42%を占める日本一の茶処・静岡県。産地は牧之原など20を超える。



話題のB級グルメも静岡にはいっぱい。値段はB級でも、美味しさは超A級!



静岡おでん

真っ黒の出し汁に、じっくり煮込んで味がしみ込んだ牛スジ、豚モツ、黒はんぺん。カラダもココロも暖める静岡の味。



浜松餃子

野菜たっぷりのあっさり風味と、豚肉のコクを併せ持つ浜松餃子。円型焼きと付け合わせのもやしが特徴。



富士宮やきそば

B-1グランプリ第1回、第2回に1位となったB級グルメの代名詞。独特の麺、肉かす、削り粉などがその証。

戦國の世の静岡に、 いざ見えん!

[静岡県の城総覧]

全国初! 静岡発!
静岡県の城館700余を網羅した
お城データベース!

多彩な検索機能!

底本は「静岡県の中世城館跡」!

独自取材で徹底解説!

必見!

■静岡県の城総覧トップページ

城と戦国浪漫 shizuoka 静岡戦国浪漫 静岡県の城総覧

ホーム > 静岡県の城総覧

静岡県の城総覧 SHIZUOKA
はるかなる歴史の舞台へ、いざ!

地域から探す
地域よりお城を選択して頂けます。以下の地図より選択してください。

市町名を選択

武将名から探す
武将の名前から、ゆかりのお城が検索出来ます。下記のプルダウンメニューより選択してください。

武将を選択

城名から探す
城名を入力し、お城を選択して頂けます。
※漢字またはひらがな

城名を入力

城の様式から探す
様式よりお城を選択して頂けます。下記よりお選びください。

- 平城
平地に築かれた城。
- 平山城
山地と平地の両方にわたって築かれた城。麓からの高さ(比高)20~100m程度まで。
- 山城
麓からの高さ(比高)100~150m以上との高さに築かれた城。
- その他
壘、陣屋、館など。

静岡のお勧めのお城

城と戦

<http://www.sengo>

今川と北条が君臨し、徳川
そんな歴史浪漫あふれる静岡県を
歴史ファン待望の

城好き

HPを使いこなそう!



- 壺之巻 静岡戦国記
- 式之巻 静岡武将列伝
- 参之巻 静岡戦国奇譚

[静岡戦国浪漫]

名将達による戦いが
繰り広げられた地「静岡」を、
多面的・立体的に解説!

■静岡戦国浪漫トップページ

shizuoka 国浪漫 ku-shizuoka.com

と武田が覇を競った静岡県。
「城」と「戦国」で斬った情報が満載。
webサイト。登場!

静岡戦国浪漫

あ、**『センゴク』の登場人物が降臨!**
講談社刊「週刊ヤングマガジン」に2004年から連載され、現在、第2部が連載中の宮下英樹著「センゴク」。これまでの常識を覆す超リアルな描写で話題と注目を集めたこの大人気コミックの登場人物が、原作の迫力そのままに、「城と戦国浪漫」に登場します。

戦国 静岡戦国記

お知らぬ、最新情報やデジタルコンテンツ...



よくしるね!
「城と戦国浪漫」
マスコットキャラクター
しずぽん

応募総数150作品の中から厳正な審査の結果、徳川家康を連想させる狸をモチーフとしたキャラクター「しずぽん」に決定しました。どうぞ「しずぽん」を可愛がってください。

名前	しずぽん	趣味	鷹狩り、グルメ探訪
性別	男の子	好きな言葉	急ぐべからず
誕生日	12月26日	仕事	静岡県の観光PR

しずぽん
©静岡県

特選30城お問い合わせ

静岡県下700以上の城のなかから「Shizuoka城と戦国浪漫」が独自にセレクトした30城の問い合わせ先一覧です。どうぞ、お役立てください。

城名	自治体名	問い合わせ先	電話番号
興国寺城	沼津市	沼津市産業振興部観光交流課	055-934-4747
長浜城	沼津市	沼津市産業振興部観光交流課	055-934-4747
山中城	三島市	三島市観光協会	055-971-5000
鎌田城	伊東市	一般社団伊東観光協会	0557-37-6105
深沢城	御殿場市	御殿場市教育部社会教育課	0550-82-0339
下田城	下田市	下田市観光協会	0558-22-1531
葛山城	裾野市	裾野市観光協会	055-992-5005
狩野城	伊豆市	伊豆市観光協会	0558-73-0001
蕪山城	伊豆の国市	一般社団伊豆の国市観光協会	055-948-0304
河津城	賀茂郡河津町	河津町観光協会	0558-32-0290
駿府城	静岡市	駿府公園二の丸施設管理課事務所	054-251-0016
安倍城	静岡市	(財)静岡観光コンベンション協会	054-251-5880
久能山城	静岡市	(財)静岡観光コンベンション協会	054-251-5880
蒲原城	静岡市	(財)静岡観光コンベンション協会	054-251-5880
小島陣屋	静岡市	(財)静岡観光コンベンション協会	054-251-5880
田中城	藤枝市	藤枝市観光協会	054-645-2500
花倉城	藤枝市	藤枝市観光協会	054-645-2500
諏訪原城	島田市	島田市観光協会	0547-46-2844
勝間田城	牧之原市	牧之原市観光協会	0548-22-5600
横地城	菊川市	菊川市観光協会	0537-36-0201
掛川城	掛川市	掛川観光協会	0120-70-8080
高天神城	掛川市	掛川観光協会	0120-70-8080
横須賀城	掛川市	掛川観光協会	0120-70-8080
久野城	袋井市	袋井市観光協会	0538-43-1006
天方城	周智郡森町	森町観光協会	0538-85-6319
浜松城	浜松市	浜松城	053-453-3872
高根城	浜松市	水窪観光協会	053-987-0432
二俣城	浜松市	天竜区産業振興課	053-922-0033
犬居城	浜松市	春野町観光協会	053-989-0182
佐久城	浜松市	三ヶ日町観光協会	053-524-1124

ハローナビ
Hello NAVIしずおか

<http://hellonavi.jp/>

静岡県の詳しい観光情報満載
旬の情報を集めたブログも公開中

社団法人静岡県観光協会
054-202-5595

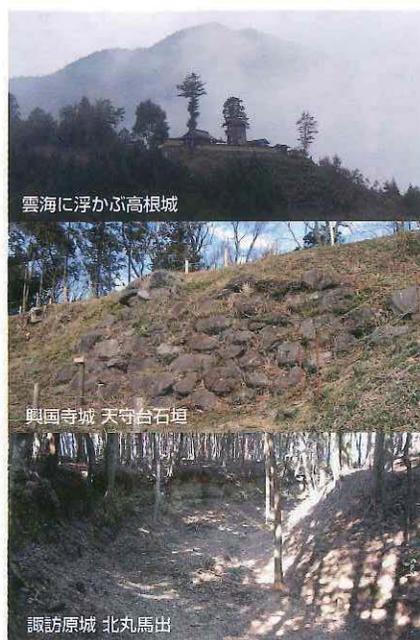
ハローナビしずおか **検索**



ハローナビしずおか
携帯サイト

本ガイドブックは静岡県が緊急雇用創出
事業として株式会社ナビへ委託して
制作したものです。

ご質問・お問合せ・株式会社ナビ
info@sengoku-shizuoka.com
電話 053-466-8558



特選30城以外の城のお問合せ先、及び詳細に
ついては、下記ホームページをご覧ください。
<http://www.sengoku-shizuoka.com>